

令和 6 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組	石原-田中-齋藤-渡部	B組	石原-田中-齋藤-渡部	C組	石原-田中-齋藤-渡部	D組	石原-田中-齋藤-渡部	E組	石原-田中-齋藤-渡部	F組	石原-田中-齋藤-渡部	G組	石原-田中-齋藤-渡部
使用教科書:	現代高等保健体育													

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<b>単元 1</b> バレーボール 【知識及び技能】 試合を想定した動きの連携を考える 【思考力、判断力、表現力】 テームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	・指導事項	【知識及び技能】				
	基礎技術から連携の動きの習得	安定したボール操作ができることにより動きの連携から空間での攻防が展開できる				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
		チームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫できる				
・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
		互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる				
<b>単元 2</b> バドミントン 【知識及び技能】 状況に応じた安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出し攻防を展開する 【思考力、判断力、表現力】 技術的な課題や有効な練習方法の選択をする 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	・指導事項	【知識及び技能】				
	基礎技術の習得、試合での攻防	状況に応じた安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出し攻防を展開することができる				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
		技術的な課題や有効な練習方法の選択ができる				
・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
		互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる				
<b>単元 3</b> 卓球 【知識及び技能】 作戦や状況に応じた技能で仲間と連携してゲームを展開する 【思考力、判断力、表現力】 解決にKYに向けて取り組み方を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 作戦などについて話し合いに貢献することや個々の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲が持てる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	・指導事項	【知識及び技能】				
	基礎技術の習得、試合での攻防	仲間と連携して一連の流れで攻撃を組み立て、攻防が展開できる。				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
		役割に応じたボール操作や仲間と連携した効果的な攻防を展開するために、ゲーム中に役割に応じた動きができる				
・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
		仲間と連携して攻撃や守りが自己のチームや相手のチームの特徴を踏まえて作戦を立てることができ、協力して実践できる。				
<b>単元 4</b> サッカー 【知識及び技能】 試合を想定した動きの連携を考える 【思考力、判断力、表現力】 テームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	・指導事項	【知識及び技能】				
	基礎技術から連携の動きの習得	安定したボール操作ができることにより動きの連携から空間での攻防が展開できる				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
		チームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫できる				
・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
		互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説						
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						

令和 **6** 年度 年間授業計画 教科 **保健体育** 科目 **体育**

教科: **保健体育** 科目: **体育** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **3** 学年

教科担当者:	A組	石原-田中-齋藤-渡部	B組	石原-田中-齋藤-渡部	C組	石原-田中-齋藤-渡部	D組	石原-田中-齋藤-渡部	E組	石原-田中-齋藤-渡部	F組	石原-田中-齋藤-渡部	G組	石原-田中-齋藤-渡部
使用教科書:	現代高等保健体育													

教科 **保健体育** の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 **体育** の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 5 水泳	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	手と足、呼吸のバランスを保ち伸びのある動作と安定したベースを保つ	泳法の習得	手と足、呼吸のバランスを保ち伸びのある動作と安定したベースを保つことができる				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	泳法に応じた一連の動きにより抵抗の少ないフォームを身に付ける		泳法に応じた一連の動きにより抵抗の少ないフォームで泳ぐことができる				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
	水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加する		水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加できる				
	単元 6 ソフトボール	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	安定したボール操作と状況に応じた守備などによって、攻防を展開する	基礎技術から連携の動きの習得	状況に応じて安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出した攻防を展開できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	チームの特徴を踏まえた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わう		チームの特徴を踏まえた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができている				
【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
チームや自己の課題解決に向けて、チームの話し合いに積極的に関わろうとする		チームや自己の課題解決に向けて、チームの話し合いに積極的に関わっている					
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説							
2 学 期	単元 7 テニス	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	状況に応じて安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出し攻防を展開する	基礎技術の習得、試合での攻防	状況に応じた安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出し攻防を展開することができる				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	技術的な課題や有効な練習方法の選択をする		技術的な課題や有効な練習方法の選択ができる				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
	互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする		互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる				
	単元 8 バスケットボール	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	安定したボール操作の習得により動きの連携から空間での攻防を展開する	基礎技術の習得、試合での攻防	安定したボール操作の習得により動きの連携から空間での攻防を展開ができる				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	試合を想定し、動きの連携を考える		試合を想定し、動きの連携ができる				
【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする		互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる					
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説							

令和 6 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組	石黒-田中-渡部-渡部	B組	石黒-田中-渡部-渡部	C組	石黒-田中-渡部-渡部	D組	石黒-田中-渡部-渡部	E組	石黒-田中-渡部-渡部	F組	石黒-田中-渡部-渡部	G組	石黒-田中-渡部-渡部
使用教科書:	現代高等保健体育													

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期  単元 1 バレーボール	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】 ・指導事項 試合を想定した動きの連携を考える	基礎技術から連携の動きの習得	【知識及び技能】 安定したボール操作ができることにより動きの連携から空間での攻防を展開できる			
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材 チームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫する		【思考力・判断力・表現力】 チームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫できる			
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする		【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる			
	単元 2 バドミントン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			
【知識及び技能】 状況に応じた安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出し攻防を展開する	基礎技術の習得、試合での攻防	状況に応じた安定したボール操作と連携した動きによって空間を作り出し攻防を展開することができる				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材 技術的な課題や有効な練習方法の選択をする	技術的な課題や有効な練習方法の選択ができる				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする		【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる			
	単元 3 卓球	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			
	【知識及び技能】 作戦や状況に応じた技能で仲間と連携してゲームを展開する	基礎技術の習得、試合での攻防	仲間と連携して一連の流れで攻撃を組み立て、攻防を展開できる。			
【思考力、判断力、表現力】 ・教材 解決にKYに向けて取り組み方を工夫する		役割に応じたボール操作や仲間と連携した効果的な攻防を展開するために、ゲーム中に役割に応じた動きができる				
【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 作戦などについて話し合いに貢献することや個々の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲が持てる			【学びに向かう力、人間性等】 仲間と連携して攻撃や守りが自己のチームや相手のチームの特徴を踏まえて作戦を立てることができ、協力して実践できる。			
単元 4 サッカー		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			
【知識及び技能】 試合を想定した動きの連携を考える		基礎技術から連携の動きの習得	安定したボール操作ができることにより動きの連携から空間での攻防を展開できる			
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材 チームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫する	チームや自己の課題に応じた取り組み方を工夫できる				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする		【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動ができる			
	定期考査(学年末考査)/返却と解説					